

数研 研究レポート 46

国民性の研究 第6回全国調査

— 1978年全国調査 —

1979年3月

統計数理研究所

当研究所では、現在 *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* と統計数理研究所彙報とを発行している。このレポートは研究調査のデータの発表を目的とし必要に応じて発行する。

統 計 数 理 研 究 所

東京都港区南麻布4丁目6-7

電 話 4 4 6 - 1 5 0 1

目 次

I 概 要	1
§ 1 研究の経過	1
§ 2 調査実施の概要	3
§ 3 感謝のことばと仕事の分担	8
§ 4 文献と資料	9
II 質問文と集計表	15
集計表の見方	15
§ 1 基本項目	17
§ 2 個人的態度	22
§ 3 宗 教	32
§ 4 子供・家	36
§ 5 身近な社会	43
§ 6 男女差別	62
§ 7 一般の社会的問題	65
§ 8 政治的態度	85
§ 9 日本人・人種	91
III 質問項目一覧表	93

I 概 要

このレポートは、統計数理研究所の国民性調査委員会がおこなっている「国民性調査」の第6回全国調査（1978年秋実施）の結果の単純集計をまとめたものである。なお、比較のため、今回調査した項目に関する過去のデータも示した。

調査の分析結果は、統計数理研究所の彙報、Annals に発表される。

§ 1 研究の経過

1. 研究経過

国民性の研究は1953（昭和28）年に第1回の全国調査をおこなった後、以後5年ごとに全国調査をおこなっている。従って、今回（1978年）は6回目になる。

これらの全国調査はすべて全国民（20歳以上の有権者）を対象にした標本調査で、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングにより抽出された3,000～6,000名の調査対象者に対し、個別面接聴取法により調査をおこなっている。調査項目は毎回50項目前後であり、共通して使用されているものが多いが、1973年の第5回調査と今回の調査では、従来から継続して行なっている調査項目中心の調査票と新規の調査項目中心の調査票との2種類の調査票によって調査した。今回の調査では、全体のサンプルのうちの半分にはK型を用い、残りの半分にはM型を用いた。この5年ごとの全国調査のほかには準備調査や吟味調査をおこなっており、これらの調査もそれぞれ独立の調査として分析できるように企画されている。

今回の調査に関連しては、1979年2月に、岐阜市で質問文を吟味するための調査を行なった。

2. 調査方法と調査項目の選定

国民性の研究方法としていろいろの方法があるが、われわれは国民自身の考え方を世論調査の方法で調査研究している。調査項目は、調査方法（面接調査）による制約はあるが、広い範囲にわたって可能な限り客観的なものを選ぶようにしている。調査票の項目選定の方法は単純にのべると、つぎのようであり、今回の調査もこれを踏襲した。

まず、国民性に関して言及された各種の文献や資料から、日本人の性質、態度、意見、特徴といわれるものを収集し、これらを整理分類した。つぎに、これらの事項から面接調査に適するように質問項目を作成した。

質問項目は各種のプリテスト、吟味調査により検討を加えるとともに、何回もくり返して調査を実施し、その性質を確かめながら結果の解析を進めている。

3. 第6回全国調査の調査項目

今回の調査では、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、このうちK型調査票の大部分の調査項目は継続して調査されている項目である。（詳しくは巻末の「調査項目一覧表」参照のこと）

一方、M型調査票の調査項目はほとんどが第5回以降に作成した調査項目である。これは主として次のような事情を考慮したからである。

- 1° 質問作成から25年たっているため、質問の内容が時代にそぐわなかったり、新たな問題をカバーできないと判断したこと。
- 2° 質問文や回答肢がよくないものがあること。
- 3° 将来外国との比較が可能であるようにしておくこと。ただし、この調査に用いた質問文が必ずしも外国に既にあるという訳ではないので、将来この質問文をもとにして、我々が外国で調査を行なうということであるが。

このように、今回の調査のねらいは大きくわけて2つあるといえる。1つは、25年来の継続質問によって、国民のものの考え方の変化の様相を明らかにすることであり、他の1つは、従来の問題意識を継続しながら新たな問題をも含みうるようにすることである。

§ 2 調査実施の概要

1. サンプル

全国の市町村を、地方性、人口規模、産業構成などを考慮して層別し、各層より合計300地点(市町村)を確率比例抽出法でえらび(第1段のサンプリング)、えらばれた各市町村から投票区を同じように確率比例抽出法でえらび(第2段サンプリング)、最後に抽出された投票区の有権者名簿より、その層に割り当てられた数だけのサンプルを等間隔抽出法でえらびだした(第3段サンプリング)。計画サンプル数は全国で5,400人である。(表1 層別のあらましを参照)

2. 調査票の種類

上の方法で選びだされた5,400人に対して、1人おきにK型とM型調査票を使用するように計画した。すなわち、どの調査地点でも、ほぼ1/2の人にはK型調査票で質問し、ほぼ1/2の人にはM型調査票で質問をした。

3. 調査の実施

全国24大学の協力をあおぎ、1978年9月より12月上旬にかけて全国調査をおこなった。

まず、全国300の調査地点を各大学に割り当て、それらの大学に研究所から調査委員が分担出張して、各大学で調査員となる学生に対して直接調査の説明を与えた。調査員は受け持ちの各調査地点の市・区役所、町村役場にいき、指示された方法で選挙人名簿からサンプルを抽出した(地点当たり平均18人)。つぎに、サンプルの家を訪問し、サンプル本人に会って、調査票どおりの質問をし、サンプルの回答を調査員が調査票に記録するという個別面接調査をおこなった。受け持ちの調査が終了したら(およそ3~4日を要する)、調査票を各大学の監督の先生に提出し、点検された調査票は一括して研究所に返送された。この結果、最終集計サンプルはK型調査票2,032人、M型調査票1,918人、合計3,945人で、これは計画サンプル5,400人の73%に当る。

なお、調査不能の詳細は表2、表3、表4にしめしてあるので、そちらを参照されたい。

表1 第6回調査の層別のあらし

		人口 (千人)	層の数	市町村数	割当サ ンプル数		
全 市	6大都市	東京23区	86465	23	1	417	
		横浜市	26218	7	1	126	
		名古屋市	20797	6	1	100	
		京都市	14611	4	1	70	
		大阪市	27790	7	1	134	
		神戸市	13606	4	1	66	
	部	人口10万以上の市	422648	113	168	2039	
		人口10万未満の市	230462	62	460	1112	
	国	郡 部	北海道地方	16086	4	180	78
			東北地方	37187	10	342	179
関東地方			44486	12	312	215	
中部地方			54017	14	540	261	
近畿地方			31905	9	298	154	
中国地方			22189	6	271	107	
四国地方			16114	4	186	78	
九州地方			44390	12	441	214	
沖繩県		10426	3	53	50		
計		111939.7	300	3257	5400		

表2 調査不能の理由

		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
K	%	1	18	2	5	16	7	22	23	3	3	100
	実数	5	187	13	36	123	49	164	170	26	26	749
M	%	1	15	2	5	17	8	22	24	4	2	100
	実数	6	104	13	35	119	55	157	166	26	25	706
計	%	1	17	2	5	17	7	22	23	4	2	100
	実数	11	241	26	71	242	104	321	336	52	51	1,455

4. 日程のあらまし(全国調査)

- 1977年 11月 層別カード作成に入る
- 1978年 4月 全国調査の層別と調査地点の決定
- 7月 各大学に調査地点割当て, 協力大学と連絡開始
- 7月 質問項目決定
- 9~12月 全国調査実施
- 1979年 1月 調査票整理, 手集計カード作成
- 2月 電算カード作成
- 2月 1979年岐阜吟味調査, 岐阜市で実施
- 3月 基本項目集計完了

表3 性別・年齢別サンプル・不能率

		性別		年齢別									計
		男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 歳 以上	
K	集計 サンプル	897	1,135	187	252	238	257	231	221	180	137	329	2,032
	不能 サンプル	419	330	116	126	92	50	72	62	48	38	145	749
	不能率	32	23	38	33	28	16	24	22	21	22	31	27
	計画 サンプル	1,316	1,465	303	378	330	307	303	283	228	175	474	2,781
	%	47	53	11	14	12	11	11	10	8	6	17	100
1975年国調 20歳以上		48	52	12	14	12	11	11	10	8	6	16	100

M	集計 サンプル	832	1,081	196	229	249	196	202	213	152	126	350	1,913
	不能 サンプル	396	310	118	114	77	65	61	51	51	34	135	706
	不能率	32	22	38	33	24	25	23	19	25	21	28	27
	計画 サンプル	1,228	1,391	314	343	326	261	263	264	203	160	485	2,619
	%	47	53	12	13	12	10	10	10	8	6	19	100
1975年国調 20歳以上		48	52	12	14	12	11	11	10	8	6	16	100

K	集計 サンプル	1,729	2,216	383	481	487	453	433	434	332	263	679	3,945
	不能 サンプル	815	640	234	240	169	115	133	113	99	72	280	1,455
	不能率	32	22	38	33	26	20	23	21	23	21	29	27
M	計画 サンプル	2,544	2,856	617	721	656	568	566	547	431	335	959	5,400
	%	47	53	11	13	12	11	11	10	8	6	18	100
1975年国調 20歳以上		48	52	12	14	12	11	11	10	8	6	16	100

表4 地方・市郡別調査不能率

地 方 別 *												
	K				M				K + M			
	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率
北海道	133	87	46	35	125	83	42	34	258	170	88	34
東北	281	174	57	25	214	169	45	21	445	343	102	23
関東	811	575	236	29	774	536	238	31	1,585	1,111	474	30
中部(東)	207	158	49	24	190	147	43	23	397	305	92	23
中部(西)	275	229	46	17	256	205	51	20	531	434	97	18
近畿	509	367	142	28	478	349	129	27	987	716	271	27
中国	181	137	44	24	173	124	49	28	354	261	93	26
四国	100	58	42	42	95	56	39	41	195	114	81	42
九州	334	247	87	26	314	244	70	22	648	491	157	24
計	2,781	2,032	749	27	2,619	1,913	706	27	5,400	3,945	1,455	27

* 沖縄は九州に含めてある

市 郡 別												
	K				M				K + M			
	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率	計 サ ン プ ル 画	集 サ ン プ ル 計	不 サ ン プ ル 能	不 能 率
6大都市	465	307	158	34	448	297	151	34	913	604	309	34
人口20万 以上の市	761	544	217	29	715	495	220	31	1,476	1,039	437	30
人口10万 20万の市	283	200	83	29	262	196	66	25	545	396	149	27
人口5万 10万の市	389	299	90	23	362	280	82	23	751	579	172	23
人口5万 未満の市	214	170	44	21	199	150	49	25	413	320	93	23
町村	669	512	157	23	633	495	138	22	1,302	1,007	295	23
計	2,781	2,032	749	27	2,619	1,913	706	27	5,400	3,945	1,455	27

§ 3 感謝のことばと仕事の分担

第6回全国調査を実施するに当り、全国24大学の諸先生および学生諸君をはじめ、いろいろの方々との協力を得た。ここに、先生方のお名前をあげて厚くお礼を申しあげる次第である。(敬称は略します)

山元周行(北海道大)、二ツ矢昌夫(弘前大)、山辺敬之(山形大)、菊池章夫(福島大)、大石 潔(茨城大)、上笹 恒(筑波大)、海保博之(筑波大)、森 博美(法政大)、児島和人(埼玉大)、西平直喜(山梨大)、返田健(岐阜大)、内田良男(名古屋大)、森 孝行(中京大)、織田揮準(三重大)、小嶋外弘(同志社大)、遠藤秀機(和歌山大)、小石寛文(神戸大)、脇本和昌(岡山大)、小野 茂(広島大)、木村 等(香川大)、大屋祐雪(九州大)、浜砂敬郎(長崎大)、高橋政明(鹿児島大)、永井 博(熊本商科大)、黒川正流(広島大)、村上 隆(名古屋大)、牧野義隆(中京大)

調査委員のほか、統計数理研究所の山下重明、荒井孝、宮崎久敬、大場正夫、杉浦正光、遠藤一夫、大久保八八、小川正明、丸山一弥、遠藤幸枝、竹村三和子、宇佐見たか子の諸氏の協力を得た。

このほか太田崐子、長坂和子、秋元節子、寺島美知代、山本洋子の諸氏は作業の全面にわたって、サポートしてくれた。これらの方々のおかげによって今回の調査を終えることができた。

なお、今回の調査委員は、林知己夫、青山博次郎、西平重喜、鈴木達三、水野欽司、鈴木義一郎、坂元慶行、村上征勝である。

§ 4 文献と資料

この研究は文部省特別事業費でおこなわれた。

この研究について、すでに印刷されたものはつぎのとおりである。

1. 林知己夫：「国民性の研究」教育統計第 30 号，1954 年，文部省調査局。
2. 林 他：「わが国国民性の統計数理的研究」日本統計学会年報 1953 年。
3. C.Hayashi *et al.*：A Study of Japanese National Character. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. I, 1959.
4. 「国民性の研究」数研研究レポート No. 5, 6, 1959 年。
5. 「岐阜吟味調査」数研研究レポート No. 7, 1960 年。
6. 西平重喜：「日本人のものの考え方」経済評論 1959 年 8 月臨時増刊号。
7. 林知己夫：「日本人の国民性」自由 1960 年 1 月号。
8. 西平重喜，鈴木達三：「わが国民性の統計的研究第 2 次調査」日本統計学会年報 1959 年。
9. Research Committee: A Study of the Japanese National Character, Second Survey. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. II, 1960.
10. 統計数理研究所国民性調査委員会：日本人の国民性 至誠堂 1961 年 8 月。
11. 西平重喜：日本人の意見 誠信書房 1963 年。
12. 「岐阜調査 1963」数研研究レポート No. 8, 1963 年。
13. 鈴木達三：「国民性の研究—第 III 次全国調査について」統計数理研究所彙報第 11 巻 2 号，1964 年。
14. 「国民性の研究」第 III 次調査，数研研究レポート No. 11, 1964 年。
15. 「成年の常識」数研研究レポート No. 12, 1964 年。
16. 鈴木達三：「日本人は変わったか」自由 1964 年 10 月号。
17. Research Committee: A Study of the Japanese National Character, The Third Survey. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. IV, 1966.
18. 林，西平，鈴木：図説 日本人の国民性 至誠堂 1965 年 5 月。

19. 「国民性の研究」1965年調査，数研研究レポートNo.14，1966年。
20. 林，鈴木：「日本人の自画像」自由 1967年1月号。
21. 鈴木達三：「日本人の国民性・ものの考え方」統計 1968年2月号。
22. 「宗教調査—1968年，国際比較—」数研研究レポートNo.21，1969年。
23. 西平重喜：「日本人の宗教的態度と国際比較」布教 1969年6月号，7月号。
24. S. Nishihira : Les Attitudes des Japonais envers la religion, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 1970 .
25. T. Suzuki : A Study of the Japanese National Character—part IV— . *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6. 1970 .
26. 林知己夫：「日本人の国民像—15年の変化」自由 1969年7月号。
27. 林知己夫：「断絶する政党と国民の政治意識」自由 1970年2月号。
28. 西平重喜：「15年間の意見の変化—国民性第Ⅳ次調査より」国民生活研究 1969年7月号。
29. 西平重喜：「国民性の変化」第20回新聞広告ゼミナール講演集 全日本新聞広告会。
30. 統計数理研究所国民性調査委員会：第2日本人の国民性 至誠堂1970年。
31. 西平重喜：「国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方」TVVレポートNo.67，1970年。
32. 青山博次郎：「日本人—統計から見た特性」毎日夫人1971年5月号。
33. 鈴木達三：「ハワイにおける日系人」学術月報1972年2月号。
34. T. Suzuki *et al.* : A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 7, 1972.
35. 林知己夫：「比較研究のむずかしさ」共同通信1972年7月5日号。
36. C. Hayashi: The Japanese National Character 第20回国際心理学会 LS, 7-1, 1972年。
37. 林知己夫：「日本人の国民性について」サンケイ新聞 1972年8月25日号。
38. 西平重喜：「西洋人は宗教についてどう考えているか」宗務時報 No.29, 1972年。

39. 林, 西平, 野元, 鈴木: 比較日本人論 中央公論社 1973年.
40. 西平重喜: 「日本人の国民性について」心と社会 Vol. 4, No. 1, 1973年.
41. 鈴木達三: 「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試み I」統計数理研究所彙報 第21巻2号, 1973年.
42. 「ハワイにおける日系人」数研研究レポートNo. 33, 1973年.
43. 坂元慶行: 「公共意識と個人の権利意識」AD・R 63号 (協和広告) 1973年.
44. 林知己夫: 「日本人の科学文明観」内外教育 1974年5月24日号.
45. 林知己夫: 「日本人はどのように変わったか—国民性の調査から」町村週報 1165号. 1974年6月.
46. 林知己夫: 「日本人の心のヒダ」朝日新聞 1974年6月17日夕刊.
47. 鈴木達三: 「日本人の国民性20年の変遷」(電通)モチベーションリサーチ研究会定例研究会レポートNo. 12, 1974年6月.
48. 林知己夫: 「現代若者の職場意識」あすへの力No. 62 神奈川県青少年育成課, 1974年7月.
49. C. Hayashi and T. Suzuki: Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part I, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 26, No. 3, 1974, 455-516. Part II, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 27, No. 1, 1975, 1-32.
50. C. Hayashi: Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys. *Journal of Asian and African Studies*, X, 1-2, 1974. 75-85.
51. 西平重喜: 「変った国民性 変らない国民性」自由 1974年8月号.
52. S. Nisihira: Changed and Unchanged Characteristics of the Japanese, *Japan Echo*, Vol. 1, No. 2, 1974, 22-32.
53. 林知己夫: 「日本人の国民性をめぐって」教育と医学 1974年10月号.
54. 林知己夫: 「社会と統計」放送大学テキスト 日本短波放送, 1974年.
55. 林知己夫: 「相互理解の構造」青淵, 1974年10月号.

- 56 林知己夫：「義理と人情」にんげん百科 59. 1974年10月21日号.
- 57 林知己夫：「日本人は健全である—国民性調査20年で明らかにされた真実」
正論 1974年12月号.
- 58 林知己夫：「日本人の心は変わったか—調査からみた日本人の国民性」日本人
研究No.1, 1974年.
- 59 西平重喜：「政治についての世論の変化—20年史」日本人研究 No.1,
1974年.
- 60 鈴木達三：「国民性国際比較の方法—日本人とハワイ日系人との比較から」
日本人研究No.1, 1974年.
- 61 林知己夫：「日本人の偉人観」歴史と旅, 1974年12月号.
- 62 林知己夫：「日本人の価値観」自治研修, 1974年12月号.
- 63 林知己夫：「統計で日本人の心を描く」日立, 1975年2月号.
- 64 鈴木達三：「比較文化研究の問題」数理学No.141, 1975年3月号.
- 65 西平重喜：「日本人の宗教的態度の変化」布教29巻3号, 1975年.
- 66 坂元慶行：「戦後日本の経済と人間の意識構造」週刊東洋経済 1975年4月
24日臨時増刊号.
- 67 Y. Sakamoto : A Study of the Japanese National Character—
part V — *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 8, 1975.
- 68 林知己夫：「日本人の勤労観」毎日テープレクチャー, 1975年.
- 69 林知己夫：「日本人の意識は支持政党によりどうちがうか」日本人研究II
至誠堂, 1975年.
- 70 統計数理研究所国民性調査委員会：第3日本人の国民性, 至誠堂, 1975年.
- 71 林知己夫：「日本人の生きがいについて」貯蓄時報 No. 106, 1975年12月号.
- 72 林知己夫：「変わる思想・変わらぬ思想」信濃毎日 1976年1月1日.
- 73 鈴木達三：「思想(意見)と年齢」数理学 1976年1月号.
- 74 林知己夫：「調査は何を物語るか」スチールデザイン 154号, 1976年.
- 75 鈴木達三：「地域開発, 地域社会に関する世論」日本地域開発センター報告書
1976年

- 76 林知己夫：「日本人の考え方はどう変わったか」日本文化会議月例懇談会収録集 No. 85, 1976年.
- 77 林知己夫：「世論をどうつかまえるか」日本人研究IV, 1976年.
- 78 林知己夫：「比較研究ということ」統計, 1976年10月号.
- 79 C. Hayashi : Changes in Japanese Thought during the Past Twenty Years, 日本人研究会アメリカセミナーレポート, 1977年.
- 80 林知己夫：「世論調査の発展と現状」輿論科学協会編, 「世論調査の現状と課題」至誠堂, 1977年.
- 81 林知己夫：「価値観, について 1895 - 1977」週刊東洋経済 4001号, 1977年.
- 82 林知己夫：「計量的日本人論」文化庁月報 No. 105, 1977年6月号.
- 83 林知己夫：「日本人の対外国態度と対外国人態度」日本人研究V, 1977年.
- 84 T. Suzuki and T. Jitodai : Migration and Prefectural Identification in Four Japanese Prefectures
Ann Inst. Statist. Math., Series B, Vol 29, No. 3, 1977.
511 - 525
- 85 T. Suzuki and Y. Kuroda : A Note on Immigrants to Hawaii. Migration Research Series No. 1, in A Comparative Sociological Study on the Adaptation and Attitude Change of Asian Emigrants., Dept. of Sociology, The University of Tsukuba, December 1977. pp 30 - 39
- 86 C. Hayashi : Japanese Attitude and Party Preference (日本人研究IIの翻訳), *Japan Echo*, Vol.V Special Issue, 1978.
- 87 林知己夫：「日本人の対外国態度」正論 1978年4月号.
- 88 林知己夫：「革新政党の伸びる条件」Voice 1978年4月号.
- 89 西平重喜：世論反映の方法 (第II部第1章, 日本人の国民性) 誠信書房, 1978年.
- 90 林知己夫：「国民性」実験心理学研究 17巻2号, 1978年.

91. C. Hayashi : Nationality, Social Psychology in Japan ,
Dep. of Social Psychology Osaka Univ., 1978年.
92. Y. Kuroda, T. Suzuki and C. Hayashi : A Cross-National
Analysis of the Japanese Character among Japanese-American
in Honolulu, *Ethnicity* vol. 5, 42-59, 1978年.
93. 林知己夫：「日本人のグループダイナミックス」三隅二不二編，グループ
ダイナミックス 旺文社 1978年.
94. 林知己夫：「政治意識の生態」朝日新聞，1978年12月16日夕刊.
95. 「国民性の研究」第4回全国調査，数研研究レポートNo.23，1969年.
96. 「国民性の研究」1969年岐阜パネル調査・面接調査と自記式調査の比較，
数研研究レポートNo.24，1969年.
97. 「国民性の研究」第5回全国調査，数研研究レポートNo.38，1974年.

Ⅱ 質問文と集計表

集計表の見方

1. ここには、1978年の第6回全国調査で使用した質問の全文とその集計表を収録してある。収録順は§、#番号順になっている。また、第5回以前の質問項目で、今回の質問と特に関連のあるものについては、参考までに数字をのせた。
2. 単純集計表には比較のため第1回～第6回の全国調査の結果を示した。

略 称	説 明
I (1958)	1958年(昭和28年)におこなった第1回全国調査の結果を示す。
II (1958)	1958年(昭和33年)におこなった第2回全国調査の結果を示す。
III (1968)	1968年(昭和38年)におこなった第3回全国調査の結果を示す。
IV (1968)	1968年(昭和43年)におこなった第4回全国調査の結果を示す。
V (1978)	1978年(昭和48年)におこなった第5回全国調査の結果を示す。
VI (1978)	1978年(昭和53年、今回)におこなった第6回全国調査の結果を示す。

なお第V次、第VI次調査のKというのは、前述のように過去との比較に重きをおいた調査票(第VI次では柿色表紙)の集計結果、およびその質問番号をあらわし、Mは未来のために改良または新設した質問を主とした調査票(第VI次では緑色表紙)の集計結果、質問番号を示す。

また第II次調査も調査票を2種つくり、一方は問1から、他方は問101から始まっている。

問欄の×印は、そのときは質問していないことを示す。

3 表の中の数字は原則として%を示し、小数1桁目を4捨5入してある。計の右に()で示したのは集計に用いたサンプル数である。

4 集計表にあげられた選択肢のうち D.K. (Don't know) は「分からない」の意味であるが、われわれは、これを少し広くとり、調査員につきのように指示しておいた。

サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえして見て、それでも分からないようなら D.K. (Don't know) とすること。質問は義務教育だけでも分かるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあるが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、無答の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いいかえたりしないこと。また、サンプルが質問に対して判断する力がないもの、あるいは、その質問の答を拒否したものをさす(理由をいわずに“なんともいえない”とか2、3回質問をくり返してみても“さあ、わかりません”といったものを含む)。

5 質問文の体裁は調査票に印刷した通りである。回答記入欄も調査票の通りである。リスト(回答選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に〔リスト〕とある。なお、リストには回答選択肢のみ印刷し、その他、D.K. は入っていない。

§ 1 基本項目

1.1 性

1.2 年 齡

	問	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9	計
		男 女	20 25 30 35 40 45 50 55 60 { } { } { } { } { } { } { } 以 24 29 34 39 44 49 54 59 上	
I (1953)	1	47 53	19 15 12 11 10 8 9 6 10	100(2254)
II (1958)	¹ 101	46 54	15 14 14 10 11 8 7 7 14	100(2369)
III (1963)	○	46 54	13 13 14 12 10 9 9 6 14	100(2698)
IV (1968)	○	47 53	12 13 13 13 11 8 7 7 16	100(3033)
V (1973)	K+M	45 55	14 11 12 12 12 10 8 7 14	100(4594)
	K	46 54	14 12 12 12 12 10 7 7 14	100(3055)
	M	43 57	13 11 12 13 12 10 9 7 13	100(1539)
VI (1978)	K+M	44 56	10 12 12 12 11 11 8 7 17	100(3945)
	K	44 56	9 12 12 13 11 11 9 7 16	100(2032)
	M	43 57	10 12 13 10 11 11 8 7 18	100(1913)

1.3 学 歴

〔学歴〕 あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

- 1 小学校〔学歴なしをふくむ〕
- 2 新制中学〔旧制高等小学〕
- 3 新制高校〔工（商）業高校〕・旧制中学校〔中学校，工（商）業学校，
（高等）女学校〕
- 4 大学，短大，高専〔旧制高等学校，工（商）業専門，高等工（商）業〕
- 5 その他〔1～4のどれに当るか分からないときは校名記入〕

	問	1 小 学	2 中 学	3 高 校	4 大 学	5 他	計
I (1958)	55	33	35	24	6	2	100(2254)
II (1958)	^{32a} 132a	31	37	24	7	1	100(2369)
III (1963)	○	21	41	29	8	1	100(2698)
IV (1968)	○	16	40	34	10	0	100(3033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100(4594)
	K	15	30	42	11	2	100(3055)
	M29	14	31	40	13	2	100(1539)
VI (1978)	K+M	10	32	40	16	2	100(3945)
	K	10	32	41	15	2	100(2032)
	M	11	32	39	17	1	100(1913)

1.4 職 業

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		専門技術	管 理	大企業 ホワイトカラー	中小企業 ホワイトカラー	家族従業	小企業主	農 林 漁	大企業 ブルーカラー	中企業 ブルーカラー	単純労働	無職	他 D・K	
I (1958)	57	分類がちがう												
II (1958)	31a 131a	6		11		-	8	29	7		4	22	13	100(2,396)
III (1963)	○	3	2	6	3	3	11	16	7	8	2	38	1	100(2,698)
IV (1968)	○	3	2	7	5	3	11	16	10	8	1	34	0	100(3,033)
V (1973)	×	# 1.4 * 参照												
VI (1978)	K+M	4	2	9	6	4	9	9	8	10	1	36	2	100(3,945)
	K	4	2	9	7	4	9	8	9	10	0	35	3	100(2,032)
	M	4	2	9	6	3	9	9	8	10	1	37	2	100(1,913)

cf. # 1.4 * 職 業

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		農林水産業	自営の商工業	事務系の勤め人	作業系の勤め人	専門・自由業	管 理 職	主 婦	学 生	D・無職	
V (1973)	K+M	13	10	16	16	5	3	26	10	1	100(4,594)
	K	13	10	16	16	5	3	26	10	1	100(3,055)
	M30	13	11	15	16	5	2	27	10	1	100(1,539)

1.5 市 郡

	問	1	2	3	4	5	6	計
		区 (6 大都市)	市				町 村	
I (1958)		13	26				61	100(2254)
II (1958)		15	29		12		44	100(2869)
III (1968)		16	12	11	11	12	38	100(2698)
IV (1968)		17	17	10	12	11	33	100(3033)
V (1978)	K+M	18	23	9	12	10	28	100(4594)
	K	18	23	10	12	10	27	100(3055)
	M	18	23	9	12	10	28	100(1539)
VI (1978)	K+M	15	26	10	15	8	26	100(3945)
	K	15	27	10	15	8	25	100(2032)
	M	15	26	10	15	8	26	100(1913)

1.6 地 方

東 北 : 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島

関 東 : 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川

中部(東) : 新潟, 山梨, 長野, 静岡

中部(西) : 富山, 石川, 福井, 岐阜, 愛知

近 畿 : 三重, 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山

中 国 : 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口

九 州 にはVから沖縄をふくむ

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		北 海 道	東 北	関 東	中 部 (東)	中 部 (西)	近 畿	中 国	四 国	九 州	
I(1958)		5	14	17	21	11	16	16			100(1370)
II(1958)		5	10	25	18	14	8	5	15		100(2369)
III(1963)		5	10	23	9	10	17	8	5	13	100(2698)
IV(1968)		5	10	25	9	9	16	8	5	13	100(3033)
V(1973)	K+M	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(4594)
	K	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(3055)
	M	5	9	28	7	11	16	9	3	12	100(1539)
VI(1978)	K+M	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100(3945)
	K	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100(2032)
	M	4	9	28	7	11	18	7	3	13	100(1913)

§ 2 個人的態度

2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いますか？

1 おし通せ	2 従え	3 場合による
4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 おし 通せ	2 従 え	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100(2254)
II (1958)	7 107	41	35	19	1	4	100(2369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100(2698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100(3038)
V (1973)	K11	36	32	29	1	2	100(3055)
VI (1978)	K 6	30	42	24	2	2	100(2032)

2 2 b スジか まるくか

〔リスト〕物事の『スジを通すこと』に重点をおく人と、物事を『^{ものこと}まるくおさめること』に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか？

- | | |
|----------------------|--------|
| 1 『スジを通すこと』に重点をおく人 | |
| 2 『まるくおさめること』に重点をおく人 | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 スジを通す	2 まるくおさめる	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	K13	44	50	4	2	100(2032)

2.3 c 家庭に満足か , # 2.3 d 社会に満足か

[リスト] a あなたは自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか？

b では、社会に対してはどうですか？

1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 その他〔記入〕 6 D.K.

	問		1 満 足	2 やや 満 足	3 やや 不 満	4 不 満	5 他	6 D.K.	計
V (1978)	M9a	家庭	48	33	13	5	1	0	100(1539)
	M9b	社会	6	20	37	30	1	6	100(1539)
VI (1978)	M5a	家庭	54	32	8	4	0	2	100(1913)
	M5b	社会	9	28	38	19	1	5	100(1913)

2.4 くらし方

〔リスト〕 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもの
うちで、どれが1番、あなた自身の気持に近いものですか？

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 一生けんめい働き、金持ちになること |
| 2 | まじめに勉強して、名をあげること |
| 3 | 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする |
| 4 | その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと |
| 5 | 世の中の正しくないことを押しつけて、どこまでも清く正しくくらすこと |
| 6 | 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと |
| 7 | その他〔記入〕 |
| 8 | D.K. |

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	計
		金 持 ち	名 を あ げ る	趣 味	の ん き に	清 く 正 し く	社 会 に つ く す	他	D.K.	
I(1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100(2254)
II(1958)	22	17	3	27	18	23	6	3	3	100(920)
III(1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100(2698)
IV(1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100(3033)
V(1973)	K34	14	3	39	23	11	5	2	3	100(3055)
VI(1978)	K19	14	2	39	22	11	7	2	3	100(2032)

2.5 自然と人間との関係

〔リスト〕 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけえらんで下さい？

- 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない
 - 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
 - 3 人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない
 - 4 その他〔記入〕
- 5 D.K.

	問	1 自然 に従え	2 自然を 利用	3 自然を 征服	4 他	5 D.K.	計
I(1958)	84	27	41	23	1	8	100(2254)
II(1958)	15	20	38	28	1	13	100(920)
III(1963)	15	19	40	30	1	10	100(2698)
IV(1968)	17	19	40	34	1	6	100(3033)
V(1973)	K+M	31	45	17	1	6	100(4594)
	K23	30	45	16	1	8	100(3055)
	M20	32	44	18	1	5	100(1539)
VI(1978)	K16	33	44	16	1	6	100(2032)

2.7 一番大切なもの

あなたにとって1番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください
(なんでもかまいません)？

(自由回答法)

[品物, 愛情, 子供などなんでもよいが, こちらからは絶対に例をあげるな]

	問	1 生命・健康	2 子 供	3 家 族	4 家 ・ 先 祖	5 金 ・ 財 産	6 愛 情 ・ 精 神	7 仕 事 ・ 信 用	8 国 家 ・ 社 会	そ の 他	D ・ K 特 に な し	計
I (1953)	47	12	12	19	*	16	11	*	*	25	5	100(2254)
II (1958)	29 129	21	11	11	*	12	21	*	*	19	5	100(2369)
III (1963)	29	26	10	13	2	10	15	10	3	4	7	100(2698)
IV (1968)	34	23	8	13	3	8	15	10	4	5	6	100(3033)
V (1973)	K41	20	8	20	2	8	17	8	5	4	8	100(3055)
VI (1978)	K32	21	7	23	1	5	22	10	3	4	4	100(2032)

*はその他

2.8 一生働くか

もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか？

1 ずっと働く	2 働くのをやめる
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 ず っ と 働 く	2 働 く の や め を る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M2	70	25	3	2	100(1,539)
VI (1978)	K1	69	25	3	3	100(2,032)

2.11 好きなくらし方か人のためか

〔リスト〕 あなたは、つぎの2つの⁵⁸暮らし方のうち、どちらに賛成ですか？

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 人のためにはならなくても、自分の好きなことをしたい |
| 2 | 自分の好きなことかどうかはともかく、人のためになることをしたい |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 好自 きな 分の こと	2 人 な の た め に	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M6	35	55	5	5	100(1918)

2.12 他人のためか自分のためか

たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも、自分のことだけに気をくばっていると思いますか？

1	他人の役にたとうとしている
2	自分のことだけに気をくばっている
3	その他〔記入〕
4	D.K.

	問	1 他人の役に	2 自分のことだけ	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	K27	19	74	3	4	100(2032)

213 将来に備えるか楽しむか

〔リスト〕 若いときは，将来に備えるための時期であり，また，楽しむための時期でもあると思います。あなたはそのどちらの方に重点をおくべきだと思いますか？

- | | |
|--------------------|--------|
| 1 将来に備える方に重点をおくべきだ | |
| 2 楽しむ方に重点をおくべきだ | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 将 備 え に る 方	2 楽 し む 方	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M7	72	23	2	3	100(1913)

§ 3 宗 教

3 1 宗教を信じるか

宗教についておききしたいのですが，

たとえば，あなたは，何か信仰とか信心とかを持っていますか？

- 1 もっている，信じている
- 2 もっていない，信じていない，関心がない → 問bへ

	問	1 信じて いる	2 信じて いない	計
I (1953)	×			
II (1958)	16a	35	65	100(920)
III (1963)	28a	31	69	100(2698)
IV (1968)	33a	30	70	100(3033)
V (1973)	K19a	25	75	100(3055)
VI (1978)	K11a	34	66	100(2032)

3 2 「宗教心」は大切か

〔これは前問# 3 1の答が1の人には質問しない〕それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大切	2 大切でない
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 大 切	2 大 切 で な い	3 他	4 D.K.	計
I (1958)	×					
II (1958)	16c	72	16	2	10	100(655)
III (1968)	28b	77	18	4	6	100(1863)
IV (1968)	33b	76	14	5	5	100(2113)
V (1973)	K19 b	69	15	6	10	100(2303)
VI (1973)	K11 b	74	18	4	9	100(1335)

89 首相の伊勢参り

あたらしく総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

1 行かねばならぬ	2 行った方がよい
3 本人の自由だ	4 行かない方がよい
5 行くべきではない	
6 その他〔記入〕	7 D.K.

	問	1 行 か ね ば ら ぬ	2 行 っ た よ 方 が い い	3 本 人 の 自 由	4 行 か な い 方 が よ い	5 行 く は べ き な い	6 他	7 D.K.	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100(2254)
II (1958)	110	5	38	27	12	5	2	16	100(1449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100(2698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100(3033)
V (1973)	K14	4	21	48	10	5	3	9	100(3055)
VI (1978)	K 7	3	17	51	7	5	8	9	100(2032)

89b 首相の伊勢参り

〔リスト〕 あたらし^{こうたい}く総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く
 人がありますが、あなたはこのことについて、どう思いますか？

- | | | |
|---|--------------------|--------|
| 1 | 公用として行くべきだ | |
| 2 | 私用としてなら、行ってもよい | |
| 3 | 私用としても、行くべきではない | |
| 4 | 行くとか行かないとかは、どうでもよい | |
| 5 | その他〔記入〕 | 6 D.K. |

◀ # 89 の答を変更 ▶

	問	1 公用として 行くべきだ	2 私用として ならよい	3 行く べき ない	4 どう でも よい	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	M19	12	32	5	44	1	6	100(1913)

§ 4. 1 子 供

4. 4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を，子供が聞いてきて，親にたずねたとき，親はそれがほんとうであることを知っている場合，子供には

「そんなことはない」

といった方がよいと思いますか，それとも

「それはほんとうだ」

といった方がよいと思いますか？

1 そんなことはないという	2 ほんとうだという
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 はそ なん いな いとこ うと	2 本 当 とだ いう	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	9	38	42	13	7	100(2254)
II(1958)	6	38	41	10	11	100(920)
III(1963)	4	32	50	10	8	100(2698)
IV(1968)	4	29	52	11	8	100(3033)
V(1973)	K5	31	54	6	9	100(3055)
VI(1978)	K4	27	57	8	8	100(2032)

4.5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。
 「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛 成	2 反 対
3 いちがいにはいえない	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 はい いち えが ない いに	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	24の1	65	24	9	0	2	100(2254)
II (1958)	×						
III (1963)	5	60	23	15	1	1	100(2698)
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100(3033)
V (1973)	K 6	44	38	17	1	0	100(3055)
VI (1978)	K 5	45	40	13	1	1	100(2032)

4.18 就職のとき , # 4.18b 嫁入りのとき

a [リスト] 学校を卒業して、仕事のため、家から離れて行く自分の子供に、
2人の親がつぎのように言いました。親としては、どちらの言い方がよいと
思いますか？

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | こまったことがあったら、まず親に相談しなさい |
| 2 | 今後はこまったことがあっても、親を頼りにしてはいけない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

b [同じリスト] では、娘が嫁に行く場合は、どちらがよいと思いますか？

	問		1 相 談 さ し い な	2 頼 る な	3 他	4 D.K.	計
V(1973)	M15 a	就 職	58	37	2	3	100(1539)
	M15 b	嫁入り	54	42	1	3	100(1539)
VI(1978)	M12 a	就 職	67	30	2	1	100(1913)
	M12 b	嫁入り	57	39	2	2	100(1913)

4.14 子供の雑誌売り

小学生の子供が、読み終わった雑誌や使わないおもちゃを友だちに売ろうとしています。こんなとき、もしあなたが親だとしたら、売のをやめさせますか、それともそのままにしておきますか？

1 やめさせる	2 そのままにしておく
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 やめさせる	2 そ し の ま ま に お ま く に	3 他	4 D.K.	計
I (1958)	×					
II (1958)	×					
III (1968)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M3	76	17	4	3	100(1913)

4.15 親もテレビに出すべきか

〔リスト〕 ある若者がハイジャックをしたとします。こういうとき、テレビでその若者の親にいろいろ聞く場面を放送することがあります。このことについて、つぎのどちらの意見に賛成ですか？

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 親はハイジャックとは関係ないのだから、親の話を聞く場面を放送する必要はない |
| 2 | テレビとしては、やはり親に話を聞く場面も放送すべきだ |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 必要 なし	2 放 送 す べ き	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	M15	59	34	1	6	100(1,913)

§ 4.2 家

4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思えますか、それとも、つがせる必要はないと思えますか？

1 つがせた方がよい	2 つがせないでもよい，意味がない
3 場合による	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 つ が せ る	2 つ が せ な い	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	2801	73	16	7	1	3	100(2254)
II(1958)	106	63	21	8	1	7	100(1449)
III(1963)	2	51	32	12	1	4	100(2698)
IV(1968)	2	43	41	9	2	5	100(3033)
V(1973)	K3	36	41	17	1	5	100(3055)
VI(1978)	K3	33	48	12	1	6	100(2032)

4.11 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば，先祖を尊ぶ方ですか，それとも尊ばない方ですか？

1 尊ぶ	
2 普通	
3 尊ばない方	
4 その他〔記入〕	
	5 D.K.

	問	1 尊 ぶ	2 普 通	3 尊 ば な い 方	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	3	77	15	5	1	2	100(2254)
II(1958)	×						
III(1963)	×						
IV(1968)	×						
V(1973)	K20	67	21	10	1	1	100(3055)
VI(1978)	K10	72	16	10	1	1	100(2032)

§ 5 身近な社会

5.1 恩人がキトクするとき

〔絵を見せながら〕 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

〔ここでリストを見せる〕 あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい？

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | なにをおいても、すぐ故郷へ帰る |
| 2 | 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100(2254)
II (1958)	111a	50	39	2	9	100(1449)
III (1963)	13a	46	46	2	6	100(2698)
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100(3033)
V (1973)	K21a	51	40	2	7	100(3055)
VI (1978)	K15a	51	42	2	5	100(2032)

5.1b 親がキトクするとき

〔質問 a と同じ絵，同じリストで〕 いまの質問では，恩人が死にそうなときを，うかがいましたが，もしキトクなのが恩人ではなくて，南山さんの親だったら，どうしたらよいと思いますか，どちらかえらんで下さい？

1	なにをおいてもすぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても，大事な会議に出席する	
3	その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	42	49	48	1	2	100(2254)
II(1958)	111b	50	41	2	7	100(1449)
III(1963)	13b	45	47	2	6	100(2698)
IV(1968)	15b	44	49	3	4	100(3033)
V(1973)	K21b	51	41	2	6	100(3055)
VI(1978)	K15b	49	44	1	6	100(2032)

5.1 恩人がキトクのと看×# 5.1 b 親がキトクのと看

	恩人	1	2	3	4	5	計
	親	故郷 会議	故郷	会議 故郷	会議 故郷	その他	
I (1953)	41, 42	15	38	9	31	7	100(2254)
II (1958)	111 ab	13	36	10	27	14	100(1449)
III (1963)	13 ab	10	34	10	35	11	100(2698)
IV (1968)	15 ab	13	32	11	35	9	100(3033)
V (1973)	K21 ab	9	40	8	30	13	100(3055)
VI (1978)	K15 ab	12	38	9	31	10	100(2032)

5.1 c-1 入社試験

〔リスト〕 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」

と社長のおあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ(採用しろ)といますか？

1	1番の人を採用するようにいう	2	親戚を採用するようにいう
3	その他〔記入〕	4	D.K.

	問	1 1 番 の 人	2 親 戚 の 人	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20a	75	19	2	4	100(2698)
IV (1968)	22a	78	17	2	3	100(3033)
V (1973)	K+M	78	19	1	7	100(4594)
	K28 a	78	19	1	7	100(3055)
	M16 a	72	19	2	7	100(1539)
VI (1978)	K21 a	72	23	2	3	100(2032)

5.1 c - 2 入社試験

〔つぎのリスト〕 それでは、このばあい、2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか？（どちらをとれといえますか？）

- | | | |
|---|------------------|--------|
| 1 | 1番の人を採用するよいうにいう | |
| 2 | 恩人の子供を採用するよいうにいう | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 1 番 の 人	2 恩 人 の 子	3 他	4 D.K.	計
I(1958)	×					
II(1958)	×					
III(1968)	20b	48	44	2	6	100(2698)
IV(1968)	22b	54	39	2	5	100(3033)
V(1973)	K+M	52	38	2	8	100(4594)
	K28 b	52	39	2	7	100(3055)
	M16 b	52	38	1	9	100(1539)
VI(1978)	K21 b	47	46	2	5	100(2032)

5.1 c-1 入社試験(親戚) × # 5.1 c-2 入社試験(恩人の子)

	親戚	1 1番	2 親戚 恩人	3 親戚 1番	4 1番	5 そ の 他	計
	の恩 子人	恩 人	恩 人	1 番	1 番		
I(1953)	×						
II(1958)	×						
III(1963)	²⁰ ab	25	17	2	46	10	100(2698)
IV(1968)	²² ab	23	14	2	52	9	100(3038)
V(1973)	K+M	20	16	2	49	13	100(4594)
	^{K28} ab	20	17	2	50	11	100(3055)
	^{M16} ab	21	16	2	49	12	100(1589)
VI(1978)	^{K21} ab	25	20	2	45	8	100(2032)

5.1 d 大切な道徳

〔リスト〕 つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれに
 しますか？

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 親孝行をすること | 2 恩返しをすること |
| 3 個人の権利を尊重すること | 4 自由を尊重すること |
| 5 その他〔記入〕 | 6 D.K. |

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 他	6 D.K.	計 (複数回答)
I(1958)	×							
II(1958)	×							
III(1963)	17	61	43	48	40	1	4	100(2698)
IV(1968)	20	61	45	44	46	0	2	100(3033)
V(1973)	K26	63	43	45	43	1	2*	100(3055)
VI(1978)	K18	70	47	38	39	0	2	100(2032)

* 3つ以上えらんだものはD.K. に入れた。

5.1 d 大切な道徳の組合せ

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	
		孝 行 × 恩 返	孝 行 × 権 利	孝 行 × 自 由	恩 返 × 権 利	恩 返 × 自 由	権 利 × 自 由	は 恩 返 の み	孝 行 の み 又	は 自 由 の み 又	そ の 他	
I(1953)	×											
II(1958)	×											
III(1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100(2698)	
IV(1968)	20	28	15	18	8	8	20	1	1	1	100(3033)	
V(1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100(3055)	
VI(1978)	K18	34	17	19	7	7	14	1	0	1	100(2032)	

5.6 めんどうをみる課長

〔リスト〕 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげて下さい？

- | | |
|---|---|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどうを見ません |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 めん みど なう いを	2 めん ど みう るを	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	35	12	85	1	2	100(2254)
II(1958)	117	14	77	2	7	100(1,449)
III(1963)	21	13	82	1	4	100(2,698)
IV(1968)	23	12	84	1	3	100(3,033)
V(1973)	K29	13	81	1	5	100(3,055)
VI(1978)	K22	10	87	1	2	100(2,032)

5.6 b つとめたい会社

〔リスト〕 つぎのような2つの会社があるとします。もしあなたがつとめるとしたら、どちらの会社の方がよいですか？

- | | | |
|---|--------------------------------------|--------|
| 1 | 給料は多いが、レクリエーションのための運動会や旅行などはない会社 | |
| 2 | 給料はいくらか少ないが、運動会や旅行などをして、家族的な雰囲気のある会社 | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 給料が 会社い	2 家 族 的 雰 囲 気	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M18	21	74	1	4	100(1539)
VI (1978)	K23	18	78	1	3	100(2032)

5.6 C 嫌いな旅行 — いくべきか

[リスト] 会社のレクリエーションの行事について、従業員の希望をしらべたところ、一泊旅行と決まりました。こんなとき、旅行は嫌いで、他の希望をのべた社員はどうすべきでしょうか？

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1 | いやなら参加しなくてもよい | |
| 2 | いやでも参加すべきだ | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 参 加 し な く も よ い	2 参 加 す べ き	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	K25a	54	44	1	1	100(2032)

5.6 d 嫌いな旅行 — 世間では

《# 5.6 c に続く》

〔リスト〕 世間ではこんな場合、いやなら参加しない人と、いやでも参加する人と、どちらが多いと思いますか？

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 『いやなら参加しない人』が多い | |
| 2 『いやでも参加する人』が多い | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 参加しない人	2 参加する人	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	K25b	39	55	1	5	100(2032)

5.6 e 課長 — ヨメの世話

5.6 f 課長 — 引っ越し

5.6 g 課長 — 居残り

a 友達と雑談していたとき、その友達が自分の会社についてこんなことをいったとします。

「うちの会社では、課長が何人もの部下のおヨメさんの世話をした」というのです。こういう会社は、「いい感じ」がしますか、それとも、「いやな感じ」がしますか？

b では、

「うちの会社では、課長が引越した、たとえば、部下の方から進んで手伝いに行く」といったら、こういう会社は「いい感じ」がしますか、「いやな感じ」がしますか？

c では、

「うちの会社では、時間がくれば課長が残っていても、用のない部下はあいさつをして、さっさと帰る」といったら、こういう会社は、「いい感じ」ですか、「いやな感じ」ですか？

1 いい感じ	2 いやな感じ
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 いい 感じ	2 いや な 感じ	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K30a	45	35	10	10	100(2082)
	K30b	58	29	6	7	100(2082)
	K30c	52	31	8	9	100(2082)

5.6 h 他人との仲か仕事か

[リスト] つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか？

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではパッとしない人 |
| 2 | 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人 |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 他 仲人 がと よい	2 仕 事 で よ く で き る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K14	72	11	7	10	100(2,032)

5.16 三万円の借用書

〔リスト〕あなたが友だちから3万円借りたとします。そのとき、その友だちが「念のため、借用書を書いてくれ」といいました。あなたは、このときどう思いますか？

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 当然のことかも知れないが、不愉快だと思う | |
| 2 当然のことだと思う | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 不 愉 快	2 当 然	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	26*	17	82	0	1	100(3,033)
V(1973)	×					
VI(1978)	M10	19	80	1	0	100(1,913)

* IVでは金額が1万円

5.17 社会生活で注意しあう

[リスト] 社会生活をするうえで、あなたはつぎのどちらがよいと思いますか？

- 1 自分では気がつかないことがあるから、お互いに注意しあう
- 2 自分自身はきちんとし、他人への注意はさしひかえる
- 3 その他〔記入〕
- 4 D.K.

	問	1 注 意 し あ う	2 注 意 か は え さ し	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	M12*	75	22	1	2	100(1,539)
VI(1978)	M9	73	25	1	1	100(1,913)

* Vの質問文は、「社会での生活をなめらかにしてゆくには、どちらがよいと思いますか？」

5.19b 議論をつくすか

〔リスト〕 PTAなどの会合で、意見が2つに分かれ、とても1つにまとまりそうにないと思います。このときあなたが会長だったら、どうするのがよいと思いますか？

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | あとに気まずさが残らないように、適当に切りあげる |
| 2 | 十分に議論をつづけ、あとで気まずさが残ることは気にしない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 適 切 に あ げ る	2 議 論 つ を づ け る	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	×					
VI(1978)	K20	48	45	2	5	100(2,032)

cf #5.19 議論をつくすか ≪質問文・答とも一部ちがう≫

〔リスト〕 PTAなどの会合で、意見が2つに分かれ、とてもひとつにまとまりそうにないとき、どうすべきだと思いますか？

- | | |
|---|----------------------------------|
| 1 | あとに気まずさが残らないように、切りあげるべきだ |
| 2 | 十分に議論をつくすべきで、気まずさが残ることは気にする必要はない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1	2	3	4	計
V(1973)	M19	41	50	1	8	100(1,539)

5.21 課長の選挙違反

〔リスト〕 ^{ひがし}東さんは、ふだんよくしてくれる課長が選挙違反をしている現場を、偶然見てしまいました。その選挙違反が別の方からバレて、課長の部下が、ひとりひとり警察に呼び出され、「何か知らないか」と尋ねられました。^{ひがし}東さんも呼び出されました。このとき、^{ひがし}東さんはどうすべきでしょうか？

- 1 すべてを話す
- 2 きかれたことだけを答える
- 3 知らないという
- 4 その他〔記入〕
- 5 D.K.

	問	1 すべてを 話す	2 きか れた こと だけ を 答 え る	3 知 ら な い と い う	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	×						
II(1958)	×						
III(1963)	×						
IV(1968)	×						
V(1973)	×						
VI(1978)	M14	24	61	10	1	4	100(1,913)

5.22 金か人間のつながりか

〔リスト〕 あなたは、人が生きていくうえで、「お金」と「人間どうしのつながり」とでは、どちらが頼りになると思いますか？

- | | | |
|---|--------------------------|--------|
| 1 | 人間どうしのつながりよりも、お金の方が頼りになる | |
| 2 | お金よりも、人間どうしのつながりの方が頼りになる | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1 お 金	2 人 間 つ な が り の	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M8	23	72	4	1	100 (1,913)

§6. 男女差別

6.2 男・女の生まれかわり

もしあなたが生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれたいと思いますか？

1 男に	2 女に	3 その他〔記入〕	4 D.K.
------	------	-----------	--------

		問	1 男 に	2 女 に	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	103	90	5	4	1	100(684)
	III(1963)	1a	88	7	3	2	100(1,252)
	IV(1968)	1a	89	5	4	2	100(1,427)
	V(1973)	K+M	89	5	2	4	100(2,063)
		K1a	89	6	2	3	100(1,395)
		M1a	90	5	3	2	100(668)
	VI(1978)	M1a	90	4	3	3	100(832)
女 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	103	64	27	6	3	100(765)
	III(1963)	1a	55	36	5	4	100(1,446)
	IV(1968)	1a	43	48	4	5	100(1,606)
	V(1973)	K+M	42	51	3	4	100(2,531)
		K1a	42	51	3	4	100(1,660)
		M1a	43	50	3	4	100(871)
	VI(1978)	M1a	41	52	3	4	100(1,081)

6.2 c 苦勞どちらが多いか

今の日本では、ひとくちでいうと、男と女ではどちらの方が苦勞が多いと思いますか？

1 男が多い 2 女が多い 3 その他〔記入〕 4 D.K.

		問	1 男 が 多 い	2 女 が 多 い	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	×					
	III(1963)	1b	56	25	12	7	100(1,252)
	IV(1968)	1b	60	19	16	5	100(1,427)
	V(1973)	K+M	64	18	11	7	100(2,063)
		K1b	65	17	12	6	100(1,395)
		M1b	64	18	9	9	100(668)
	VI(1978)	M1b	58	20	16	6	100(832)
女 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	×					
	III(1963)	1b	39	42	12	7	100(1,446)
	IV(1968)	1b	47	33	14	6	100(1,606)
	V(1973)	K+M	47	33	13	7	100(2,531)
		K1b	48	33	13	6	100(1,660)
		M1b	47	34	13	6	100(871)
	VI(1978)	M1b	51	32	12	5	100(1,081)

6.2 d 楽しみどちらが多いか

それでは、どちらの方が楽しみが多いと思いますか？

1 男が多い 2 女が多い 3 その他〔記入〕 4 D.K.

		問	1 男 が 多 い	2 女 が 多 い	3 他	4 D.K.	計
男 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	×					
	III(1963)	1c	72	10	10	8	100(1,252)
	IV(1968)	1c	66	10	17	7	100(1,427)
	V(1973)	K+M	71	11	10	8	100(2,063)
		K1c	70	11	11	8	100(1,395)
		M1c	74	10	10	6	100(668)
VI(1978)	M1c	71	8	12	9	100(832)	
女 の み	I(1953)	×					
	II(1958)	×					
	III(1963)	1c	67	13	11	9	100(1,446)
	IV(1968)	1c	60	16	15	9	100(1,606)
	V(1973)	K+M	63	16	12	9	100(2,531)
		K1c	64	15	12	9	100(1,660)
		M1c	62	18	12	8	100(871)
VI(1978)	M1c	62	19	12	7	100(1,081)	

§ 7 一般の社会的問題

7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 賛成〔人間らしさはへる〕 | 2 いちがいいはいえない |
| 3 反対〔人間らしさ、不変、ふえる〕 | |
| 4 その他〔記入〕 | 5 D.K. |

	問	1 賛 成	2 はい いち えが ない いに	3 反 対	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	5	30	17	35	1	17	100(2,254)
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100(920)
III (1963)	6	37	22	28	1	12	100(2,698)
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100(3,033)
V (1973)	K 10	50	21	22	1	6	100(3,055)
VI (1978)	K 2	43	21	30	1	5	100(2,032)

7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」
 というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 反対〔へる〕	2 いちがいにいえない
3 賛成〔へらない〕	
4 その他〔記入〕	5 D.K.

	問	1 反 (へる) 対	2 いち えが ない いに	3 (賛 へら ない 成)	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	29	17	8	58	1	16	100(2,254)
II(1958)	24	21	10	52	1	16	100(920)
III(1963)	12	18	19	49	1	13	100(2,698)
IV(1968)	13	22	13	56	1	8	100(3,033)
V(1973)	K18	31	20	42	1	6	100(3,055)
VI(1978)	K12	25	15	53	1	6	100(2,032)

7.4 日本と個人の幸福

〔リスト〕 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください?

- 1 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる
- 2 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる
- 3 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
- 4 その他〔記入〕
- 5 D.K.

	問	1 個人 ↓ 日本	2 日本 ↓ 個人	3 日本 ⇕ 個人	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	45	25	37	31	1	6	100(2,254)
II(1958)	×						
III(1963)	16	30	30	34	0	6	100(2,698)
IV(1968)	19	27	32	36	1	4	100(3,033)
V(1973)	K25	30	26	37	0	7	100(3,055)
VI(1978)	K17	27	27	41	0	5	100(2,032)

7.4 b 国の繁栄と国民の生活

〔リスト〕 国の繁栄ということについて、つぎの2つの意見があります。

あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- 1 国が繁栄しても、一部の人がもうけるばかりで、国民ひとりひとりの生活はよくなる
- 2 国が繁栄すれば、国民ひとりひとりの生活もよくなる
- 3 その他〔記入〕
- 4 D.K.

	問	1 よ く な ら い	2 よ く な る	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M20	37	57	1	5	100 (1,913)

7.5* 公益と個人の権利

〔リスト〕 現在、日本ではつぎのどちらの方が多いと思いますか？

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1 公共の利益のために、個人の権利が軽んじられていることが多い | |
| 2 個人の権利のために、公共の利益が無視されていることが多い | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D.K. |

◀ # 7.5 の公を公共に変更 ▶

	問	1 個人が 軽視	2 公益が 無視	3 他	4 D.K.	計
VI(1978)	M23	50	35	2	13	100(1,913)

cf. # 7.5 公益と個人の権利

〔リスト〕 現在、日本ではつぎのどちらの方が多いと思いますか？（ここではリストを読み上げること）

- (イ) 公の利益のために、個人の権利が軽んぜられていることが多い？
- (ロ) 個人の権利のために、公の利益が無視されることが多い？

	問	(イ)	(ロ)	他	D.K.	計
II(1958)	119	38	29	8	25	100(1,449)

7.5 b* 公益と個人の権利

〔リスト〕 つぎのような意見があります。あなたはどちらに賛成ですか。もちろん、場合により、また程度によって違うでしょうが、ひとくちでいうと、どちらを重視すべきでしょうか？

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 個人の権利をみとめるためには、公共の利益が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | |
| 2 | 公共の利益のためには、個人の権利が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

◀ # 7.5 b の「公」を「公共」に変更 ▶

	問	1 個人 権の 利	2 公 共 利 の 益	3 他	4 D.K.	計
V(1973)	M21	32	55	1	12	100(1,539)
VI(1978)	M17	32	55	2	11	100(1,913)

cf. #7.5b 公益と個人の権利

〔リスト〕 つぎのような意見があります。あなたはどちらに賛成ですか。もちろん、場合により、また程度によって違うでしょうが、ひとくちでいうと、どちらを重視すべきでしょうか？

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 個人の権利をみとめるためには、公の利益が多少犠牲になることがあっても、しかたがない | |
| 2 | 公の利益のためには、個人の権利が、多少犠牲になることがあっても、しかたがない | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D.K. |

	問	1	2	3	4	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	23	29	57	1	13	100(2,698)
IV(1968)	28	33	57	1	9	100(3,033)
V(1973)	K31	37	51	1	11	100(3,055)

7.13 d 行為か動機か

ある人が犯罪を犯したとき、実際にやった行為によってその人を罰するべきでしょうか、それとも、その動機によって罰するべきでしょうか？

1 実際にやった行為	2 動機
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 実際の 行為	2 動 機	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K9	30	57	4	9	100 (2,032)

7.16 事故と社長

〔リスト〕 飛行機の事故があったとします。あなたは、つぎのどちらの社長の態度がよいと思いますか？

- 1 社長はまず犠牲者の家をあやまってみる
- 2 社長は原因の調査などに努力する
- 3 その他〔記入〕
- 4 D.K.

	問	1 あ や ま ま わ つ て	2 原 因 の 調 査	3 他	4 D.K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	×					
III(1963)	×					
IV(1968)	×					
V(1973)	M13	50	40	4	6	100(1,539)
VI(1978)	M16	51	41	4	4	100(1,913)

7.18 人間の健康の面はよくなるか

これから先, 人間の健康の面はよくなってゆくとおぼいますか, わるくなるとおぼいますか?

a 健康の面	1	よくなる	2	わるくなる	3	変わらない
	4	その他〔記入〕			5	D.K.

	問	1 よ く な る	2 わ る く な る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ²⁷ _a	26	55	13	1	5	100(1,539)
VI (1978)	M ²⁵ _a	49	35	10	1	5	100(1,913)

* Vでは「人間の健康は……」

7.18b 心のやすらかさはますか

では、心のやすらかさは、ますと思いますか、へると思いますか？

b 心のやす らかさ	1 ます	2 へる	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 ま す	2 へ る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ²⁷ _b	13	64	13	1	9	100 (1,539)
VI (1978)	M ²⁵ _b	24	51	15	2	8	100 (1,913)

7.18c 人間の自由はふえるか

人間の自由は、ふえると思いますか、へると思いますか？

c 自由	1 ふえる	2 へる	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 ふ え る	2 へ る	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	×						
II(1958)	×						
III(1963)	×						
IV(1968)	×						
V(1973)	M ²⁷ _c	44	27	17	1	11	100(1,539)
VI(1978)	M ²⁵ _c	51	24	16	1	8	100(1,913)

7.18d 生活は豊かになるか

ひとびとの生活は、豊かになるとは思いますか、^材貧しくなるとは思いますか？

d 生活	1 豊かに	2 貧しく	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 豊 か に	2 貧 し く	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ²⁷ _d	38	30	19	3	10	100(1,539)
VI (1978)	M ²⁵ _d	44	25	21	2	8	100(1,913)

7.18e 幸福になるか

ひとびとは幸福になると思いますか、不幸になると思いますか？

e 幸福	1 幸福に	2 不幸に	3 変わらない
	4 その他〔記入〕	5 D.K.	

	問	1 幸 福 に	2 不 幸 に	3 変 わ ら な い	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	M ²⁷ _e	27	26	24	4	19	100 (1,539)
VI (1978)	M ²⁵ _e	37	19	24	5	15	100 (1,913)

7.19 才能か運か

いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか？

1 個人の才能や努力	2 運やチャンス
3 その他〔記入〕	4 D.K.

	問	1 才 能 や 努 力	2 運 や チャン ス	3 他	4 D.K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M 2	45	38	9	8	100(.1913)

7.20 自分の責任か

〔リスト〕 つぎのような意見があります。

「人の身の上に起きることは、よいことでもわるいことでも、その人の責任だ」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、反対ですか？

1 賛成	2 やや賛成
3 やや反対	4 反対
5 その他〔記入〕	6 D.K.

	問	1 賛 成	2 やや 賛 成	3 やや 反 対	4 反 対	5 他	6 D.K.	計
I(1953)	×							
II(1958)	×							
III(1963)	×							
IV(1968)	×							
V(1973)	×							
VI(1978)	M11a	32	28	16	15	2	7	100(1,913)

720b 人は信頼できるか

たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはない
 と思いますか？

- | | |
|--------------------|---------|
| 1 信頼できると思う | |
| 2 用心するにこしたことはないと思う | |
| 3 その他〔記入〕 | 4 D. K. |

	問	1 信 頼 で き る	2 用 心 が し よ た い 方	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K29	26	68	3	3	100(2,032)

720c スキがあれば利用されるか

他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それとも、そんなことはないと思いますか？

- | | | |
|---|---------------|---------|
| 1 | 利用しようとしていると思う | |
| 2 | そんなことはないと思う | |
| 3 | その他〔記入〕 | 4 D. K. |

	問	1 と利 し用 てし いよ るう	2 はそ なん いな こと	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K28	39	53	3	5	100 (2,032)

7 2 1 金を貰えばわるい気はしないか # 7 2 1 b 金があれば墮落するか

7 2 1 c かせいだ金と幸運の金 # 7 2 1 d 金にきちようめん

7 2 1 e 無理して金をかせぐか

これから、お^{かね}金についてのいろいろな意見を1つ1つ述べますが、その意見について、あなたは「そう思う」か、「そう思わない」か、一方をお答え下さい。

- a 「どんな人でもお^{かね}金を貰えばわるい気はしない」という意見について、
そう思いますか、思いませんか？

1 そう思う 2 そう思わない 3 その他〔記入〕 4 D.K.
〔わるい気持はしない〕

- b 「お^{かね}金に恵まれると、人間は墮^{だらく}落する」という意見については？

1 そう思う 2 そう思わない 3 その他〔記入〕 4 D.K.
〔墮落する〕

- c 「働いてかせいだお金^{かね}は、幸運で手にしたお金よりも価値がある」という意見は？

1 そう思う 2 そう思わない 3 その他〔記入〕 4 D.K.
〔価値がある〕

- d 「お金のことにきちようめんな人には、親しみがわかない」という意見は？

1 そう思う 2 そう思わない 3 その他〔記入〕 4 D.K.
〔親しみがわかない〕

- e 「これからの世の中は、どんな無理をしてもお金をかせぐ必要がある」という意見は？

1 そう思う 2 そう思わない 3 その他〔記入〕 4 D.K.
〔必要がある〕

	問	1 そう 思 う	2 そう 思 わ な い	3 他	4 D.K.	計
VI(1978)	M4a	55	36	6	3	100(1,913)
	M4b	46	42	9	3	100(1,913)
	M4c	93	5	1	1	100(1,913)
	M4d	23	68	3	6	100(1,913)
	M4e	53	41	2	4	100(1,913)

7 2 2 万 事 金 か

《# 7 2 0 から つ づ く》

[同じ リ ス ト] で は,

「 た い て い の こ と は 金 で な ん と か な る 」

と い う 意 見 に は, 賛 成 で す か, 反 対 で す か ?

1 賛 成	2 や や 賛 成
3 や や 反 対	4 反 対
5 そ の 他 [記 入]	6 D . K .

	問	1 賛 成	2 や や 賛 成	3 や や 反 対	4 反 対	5 他	6 D . K .	計
I (1 9 5 3)	×							
II (1 9 5 8)	×							
III (1 9 6 3)	×							
IV (1 9 6 8)	×							
V (1 9 7 3)	×							
VI (1 9 7 8)	M11b	12	18	20	47	1	2	100 (1,913)

7 2 3 事故と先生 — 本人の意見

7 2 3 b 事故と先生 — 一般の親は

a [リスト]中学生が先生の引率で旅行に行ったところ、ある生徒が夜中に1人で外出して自動車にひかれたとします。つぎの意見のうち、あなたの意見に近いのはどちらですか？

b [同じリスト]では、一般に多くの親たちの意見は、どちらだと思いますか？

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 学校の旅行中に起きた事故だから、先生に責任がある |
| 2 | その生徒は夜中に1人で外出したのだから、先生には責任はない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D. K. |

	問	1 責任 がある	2 責任 はない	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M13a	37	54	5	4	100 (1,913)
	M13b	75	17	2	6	100 (1,913)

§ 8 政治的態度

8 1 b 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成〔まかせる〕	2 反対〔まかせっきりはいけない〕
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K 8	32	58	2	8	100(2,032)

cf. # 8 1 政治家にまかせるか <<質問文は# 8 1 bと同じ>>

1 賛成〔まかせる〕	2 時、人による
3 反対〔まかせっきりはいけない〕	
4 そんなにすぐれた人が出るとは考えられない	
5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1	2	3	4	5	6	計
I(1953)	30	43	9	38	3	0	7	100(2,254)
II(1958)	^{1 2} 112	35	10	44	2	0	9	100(2,369)
III(1963)	11	29	12	47	4	1	7	100(2,698)
IV(1968)	12	30	10	51	3	1	5	100(3,033)
V(1973)	K 15	23	15	51	5	1	5	100(3,055)

cf. # 8 1* 政治家にまかせるか <<答は# 8 1 bと同じ>>

こういう意見があります。

「すぐれた政治家がでてきたら、国民が互いに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

	問	1	2	3	4	計
V(1973)	M 8	30	60	2	8	100(1,539)

86 選挙への関心

[リスト] あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

1	なにをおいても投票する
2	なるべく投票するやうにつとめる
3	あまり投票する気にならない
4	ほとんど投票しない
5	その他〔記入〕
6	D.K.

	問	1 てな もに 投を 票お い	2 なる べ 投く 票	3 らす なる い に に 票	4 票ほ しと ない ど 投	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	34 134	62	32	3	2	1		100(2369)
III (1963)	33	53	41	4	1	1		100(2698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0		100(3088)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	1	100(3055)
VI (1978)	M18	45	47	5	3	0	0	100(1913)

87 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1 自民党	2 民社党
3 社会党	4 共産党
5 公明党	6 新自由クラブ
7 支持政党なし	8 その他〔記入〕
9 D.K.	

	問	1 自 民 党	2 民 社 党	3 社 会 党	4 共 産 党	5 公 明 党	6 新 自 由 ク ラ ブ	7 支 持 政 党 な し	8 他	9 D.K.	計
I (1953)	58	41	—	23	0	—	—	19	5	12	100(2254)
II (1958)	35 135	38	—	31	0	—	—	20	1	10	100(2369)
III (1963)	35	43	3	22	0	2	—	22	8		100(2698)
IV (1968)	39	41	4	22	2	4	—	21	2	4	100(3033)
V (1973)	K+M	33	3	17	3	4	—	33	2	5	100(4594)
	K 40	35	3	17	3	4	—	31	2	5	100(3055)
	M 28	30	2	17	3	3	—	37	1	7	100(1539)
VI (1978)	K+M	34	3	14	3	4	1	34	2	5	100(3945)
	K 31	35	3	14	2	4	1	34	2	5	100(2032)
	M 26	34	2	14	3	5	2	33	2	5	100(1913)

第I次調査では、1：自由党と改進黨，3：左右社会党

88 社会は変えるべきか

[リスト]社会について、つぎの3つの考え方のうち、どれがあなたの考え方に1番近いでしょうか？

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 今の社会の構造は、革命によって一挙に変えるべきだ |
| 2 | 今の社会の悪いところは、少しずつよくしてゆくべきだ |
| 3 | 今の社会の体制を、あくまで守り通すべきだ |
| 4 | その他〔記入〕 |
| 5 | D.K. |

	問	1 革 命	2 少 し ず つ	3 守 り 通 す	4 他	5 D.K.	計
I(1953)	×						
II(1958)	×						
III(1963)	×						
IV(1968)	×						
V(1973)	×						
VI(1978)	K26	3	89	4	0	4	100(2,032)

89 社会不満の表し方

[リスト] 仮りに、あなたが社会に対して不満があるとしたら。その場合、あなたはどのような態度をとりますか？

- | | | |
|---|----------------------------|---------|
| 1 | 選挙で投票するときに、考慮する | |
| 2 | 合法的な陳情、署名あつめ、デモ、ストライキなどをする | |
| 3 | 場合によっては、非合法の手段をとることもありうる | |
| 4 | たとえ不満があっても、別になにもしない | |
| 5 | その他〔記入〕 | 6 D. K. |

	問	1 選挙で考慮	2 合法的に	3 場合により 非合法にも	4 なにもしない	5 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	M2 4	37	15	4	38	1	5	100 (1,913)

810 就職の第1の条件

810 b 就職の第2の条件

a [リスト]ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれに1番関心がありますか？

b [同じリスト]では、2番目はどれですか？

- | | | |
|---|------------------|--------|
| 1 | かなりよい給料がもらえること | |
| 2 | 倒産や失業の恐れがない仕事 | |
| 3 | 気の合った人たちと働くこと | |
| 4 | やりとげたという感じがもてる仕事 | |
| 5 | その他〔記入〕 | 6 D.K. |

	問	1 よい 給料	2 が失業 の恐れ	3 気の合う 仲間	4 やりが いの 仕事	5 他	6 D.K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	×							
IV (1968)	×							
V (1973)	×							
VI (1978)	K24a	7	23	30	38	0	2	100 (2,032)
	K24b	20	24	31	23	0	2	100 (2,032)

§ 9 日本人・人種

- # 9 1 2 日本の「科学技術の水準」, # 9 1 2 b 日本の「芸術」
 # 9 1 2 c 日本の「経済力」, # 9 1 2 d 日本の「生活水準」
 # 9 1 2 e 日本の「心の豊かさ」

- a 現在の日本は「科学技術の水準」という点では、つぎの4つのどれに当たると
 と思いますか？
- b では、「芸術」という点では、日本はどれでしょう？
- c では、「経済力」という点では、日本はどれでしょう？
- d では、「生活水準」という点では、日本はどれでしょう？
- e では、「心の豊かさ」という点では、日本はどれでしょう？

1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 その他 〔記入〕	6 D. K.
-------------	------------	-------------	--------------	---------------	---------

	問	1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 他	6 D. K.	
V(1973)	M2 5 a 科学技術	33	49	6	2	0	10	100(1,539)
	M2 5 b 芸術	14	48	16	3	1	18	100(1,539)
	M2 5 c 経済力	25	42	19	5	1	8	100(1,539)
	M2 5 d 生活水準	10	42	32	10	1	5	100(1,539)
	M2 5 e 心	6	33	40	14	1	6	100(1,539)
VI(1978)	M2 2 a 科学技術	37	48	5	1	1	8	100(1,913)
	M2 2 b 芸術	18	53	12	2	1	14	100(1,913)
	M2 2 c 経済力	24	43	19	5	0	9	100(1,913)
	M2 2 d 生活水準	11	52	25	7	1	4	100(1,913)
	M2 2 e 心	6	39	37	11	2	5	100(1,913)

9.1.3 日本文化の国際化

[リスト]あなたは、つぎのどちらの意見に賛成ですか？

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 日本のすぐれた芸術や文化は、よその国の人にも十分に理解されるはずである |
| 2 | 日本のすぐれた芸術や文化は、よその国の人には十分に理解されるはずがない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D.K. |

	問	1 は理 解さ れる	2 は理 解が され ない	3 他	4 D.K.	計
I (1958)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	M2 1	76	14	2	8	100(1,913)

Ⅲ 調査項目一覧表

(全国調査のみをあげる)

§	項 目		全 国						ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	
§ 1 基 本 項 目	11	性	1	1 101	○	○	K M	K M	}17
	12	年 齢	1	1 101	○	○	K M	K M	
	13	学 歴	55	32a 132a	○	○	K M29	K M	18
	14	職 業	57	31a 131a	○	○	— —	K M	}19
	14*	職 業 《L4をカテゴリーズ》	—	— —	—	—	K M30	— —	
	15	住所の市区郡別	} サンプリング台帳より						20
	16	住所の地方別							21
17	おくに(生まれ)	—	33 133	—	—	— —	— —	—	
§ 2 個 人 的 態 度	21	しきたりに従うか	4	7 107	7	8	K11 —	K6 —	22
	22	反対をおしきって実行	—	27 127	19	21	K27 —	— —	—
	22b	スジかまるくか	—	— —	—	—	— —	K13 —	23
	23	幸 福 か	—	20 —	—	—	— —	— —	—
	23b	住所に満足か	2	— —	—	—	— —	— —	—
	23c	家庭に満足か	—	— —	—	—	— M9a	— M5a	}24
	23d	社会に満足か	—	— —	—	—	— M9b	— M5b	
	24	くらし方	39	22 —	26	31	K34 —	K19 —	25
	24*	くらし方 《24の答を変更》	—	— —	—	—	— M26	— —	—
	25	自然と人間との関係	34	15 —	15	17	K23 M20	K16 —	26
	26	過去と将来	44	— —	—	18	K24 —	— —	—
	27	一番大切なもの	47	29 129	29	34	K41 —	K32 —	27
	28	一生働くか	—	— —	—	—	— M2	K1 —	28
29	ムダにしているか	—	— —	—	—	— M6	— —	—	
210	幸福かためになることか	—	— —	—	—	— M11	— —	—	
211	好きなくらし方か人のためか	—	— —	—	—	— —	— M6	29	
212	他人のためか自分のためか	—	— —	—	—	— —	K27 —	30	
213	将来に備えるか楽しむか	—	— —	—	—	— —	— M7	31	

§	項 目		全 国						ペ ー ジ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)				
§ 3	31	宗教を信じるか	—	16a	—	28a	33a	K19a	—	K11a	—	3 2
	31b	宗 教 名	—	16b	—	28a	33a	K19a	—	—	—	—
	31c	(宗教)していること	—	—	—	28a	33a	K19a	—	—	—	—
	32	「宗教心」は大切か	—	16c	—	28b	33b	K19b	—	K11b	—	3 3
	33	宗教は1つか	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—
	34	人々の宗教への態度	—	18	—	—	—	—	—	—	—	—
	35	「あの世」を信じるか	—	19	—	—	—	—	—	—	—	—
	36	宗教か科学か	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	37	性善・性悪	46	—	—	—	—	K36	—	—	—	—
	38	自殺やむをえぬか(板ばさみ)	21の1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38b	〃 (生活苦)	21の2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
39	首相の伊勢参り	14(15)	—	110	10	11	K14	—	K7	—	3 4	
39*	首相の伊勢参り 《39の答を整理》	—	—	—	—	—	—	M4	—	—	—	
39b	首相の伊勢参り 《39の答を変更》	—	—	—	—	—	—	—	—	M19	3 5	
§ 41	41	子供を使ひに出すとき	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	42	水鉄砲に注意	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—
	43	弟のわがまま	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	44	先生が悪いことをした	9	6	—	4	4	K5	—	K4	—	3 6
	44b	ウソー先生のうわさ話	—	—	—	—	—	—	M7a	—	—	—
	44c	ウソーつき合い	—	—	—	—	—	—	M7b	—	—	—
	44d	ウソー国内の混乱	—	—	—	—	—	—	M7c	—	—	—
	45	子供に「金は大切」と教える	24の1	—	—	5	5	K6	—	K5	—	3 7
	45*	子供に「金は大切」と教える 《4.5を2項選択に》	—	—	—	—	—	—	M10	—	—	—
	46	子供に「メンツは大切」と教える	24の3	—	—	—	—	K8	—	—	—	—
供	47	子供に自由と規律	24の4	—	—	—	6	K7	—	—	—	—
	41.3	就職のとき	—	—	—	—	—	M15a	—	M12a	} 3 8	
	41.3b	嫁入りのとき	—	—	—	—	—	M15b	—	M12b		
	41.4	子供の雑誌売り	—	—	—	—	—	—	—	M3	3 9	
	41.5	親もテレビに出すべきか	—	—	—	—	—	—	—	M15	4 0	

§	項 目		全 国						ページ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)				
§42	48	結婚式・葬式盛大に	170 9	—	109	9	10	K13	—	—	—	
	48*	結婚式に金をかける ◀ 4.8の問・答を変更 ▶	—	—	—	—	—	—	M3	—	—	
	49	本家・分家を考えるか	—	—	105	—	—	—	—	—	—	
	41.0	他人の子供を養子にするか	28の1	—	106	2	2	K3	—	K3	—	4.1
	41.0b	親類の子供を養子にするか	28の2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41.1	先祖を尊ぶか	3	—	—	—	—	K20	—	K10	—	4.2
	41.2	有名人の息子のチンドン屋	120 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
§5	5.1	恩人がキトクするとき	4.1	—	111a	13a	15a	K21a	—	K15a	—	4.3
	5.1*	恩人がキトクするとき ◀ 5.1の問・答を変更 ▶	—	—	—	—	—	—	M17a	—	—	—
	5.1b	親がキトクするとき	4.2	—	111b	13b	15b	K21b	—	K15b	—	4.4
	5.1b*	親がキトクするとき ◀ 5.1bの問・答を変更 ▶	—	—	—	—	—	—	M17b	—	—	—
	5.1c	入社試験	—	—	—	20a b	22a b	K23a b	M16a b	K21a b	—	4.6 4.7
	5.1d	大切な道徳	—	—	—	17	20	K26	—	K18	—	4.9
	5.1e	「親孝行」戦前との比較	—	—	—	18a	—	—	—	—	—	—
	5.1f	「恩返し」戦前との比較	—	—	—	18b	—	—	—	—	—	—
	5.1g	「権利尊重」戦前との比較	—	—	—	18c	—	—	—	—	—	—
	5.2	恩人のむすこの入社	26	14	114	—	—	—	—	—	—	—
§5	5.3	出し合い金が高いとき	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.4	目上の誤解の注意	19	—	116	—	—	—	—	—	—	—
	5.4c	目上につかわれるとき	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.5	巡査へ口答え	—	—	118	—	—	—	—	—	—	—
	5.6	めんどうをみる課長	35	—	117	21	23	K29	—	K22	—	5.1
	5.6*	上役とのつき合い ◀ 5.6の問・答を変更 ▶	—	—	—	—	—	—	M5	—	—	—
	5.6b	つとめたい会社	—	—	—	—	—	—	M18	K23	—	5.2
	5.6c	嫌いな旅行—いくべきか	—	—	—	—	—	—	—	K25a	—	5.3
5.6d	嫌いな旅行—世間では	—	—	—	—	—	—	—	K25b	—	5.4	
§5	5.6e	課長—ヨメの世話	—	—	—	—	—	—	—	K30a	—	5.5
	5.6f	課長—引越し	—	—	—	—	—	—	—	K30b	—	
	5.6g	課長—居残り	—	—	—	—	—	—	—	K30c	—	

§	項 目		全 国						ペ ー ジ
	#	見 出 し	I (1958)	II (1958)	III (1968)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	
	5.6a	他人との仲が仕事か	—	—	—	—	—	K14	5 6
	5.7	近所・安い・有名な店	36	—	—	24	—	—	—
	5.8	共同炊事	40	—	—	25	K9	—	—
	5.9	秀吉は若者の手本	6	—	—	—	—	—	—
§ 5	5.10	四十七士はよいか	50(51)	—	—	—	—	—	—
	5.16	三万円の借用書	—	—	—	26	—	M10	5 7
身	5.17	社会生活で注意しあう	—	—	—	—	M12	M9	5 8
近	5.18	友人のタイプ	—	—	—	—	M14	—	—
な	5.19	議論をつくすか	—	—	—	—	M19	—	—
社	5.19b	議論をつくすか 《5.19の問・答を変更》	—	—	—	—	—	K20	5 9
会	5.20	「自由」は大切か	—	—	—	—	M24a	—	—
つ	5.20b	「規律」は大切か	—	—	—	—	M24b	—	—
づ	5.20c	「宗教的な心」は大切か	—	—	—	—	M24c	—	—
き	5.20d	「国を愛するという事」は大切か	—	—	—	—	M24d	—	—
	5.20e	「先祖をとりとぶこと」は大切か	—	—	—	—	M24e	—	—
	5.20f	「親孝行」は大切か	—	—	—	—	M24f	—	—
	5.20g	「恩返し」は大切か	—	—	—	—	M24g	—	—
	5.20h	「お金」は大切か	—	—	—	—	M24h	—	—
	5.21	課長の選挙違反	—	—	—	—	—	M14	6 0
	5.22	金か人間のつながりか	—	—	—	—	—	M8	6 1
§ 6	6.1	中学校の男女共学	—	—	102	—	—	—	—
	6.2	男・女の生まれかわり	—	—	103	1a	1a	K1a M1a	M1a 6 2
	6.2b	男・女を希望	16	—	—	—	—	—	—
男	6.2c	苦労どちらが多いか	—	—	1b	1b	K1b M1b	M1b	6 3
女	6.2d	楽しみどちらが多いか	—	—	1c	1c	K1c M1c	M1c	6 4
差	6.3	女は家庭か世間か	—	—	104	—	—	—	—
別	6.4	女の仕事は好きしか	10	—	—	—	K2	—	—
	6.5	男女の能力差	—	—	120	—	—	—	—

§	項 目		全 国						ペ ー ジ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)				
	71	人間らしさはへるか	5	3	—	6	7	K10	—	K2	—	6 5
	72	心の豊かさはへらないか	29	24	—	12	13	K18	—	K12	—	6 6
	72b	21世紀の世の中	—	—	—	—	14	—	—	—	—	—
	73	家族・国家中心と個人中心	—	26	126	—	—	—	—	—	—	—
	74	日本と個人の幸福	45	—	—	16	19	K25	—	K17	—	6 7
	74b	国の繁栄と国民の生活	—	—	—	—	—	—	—	—M20	—	6 8
§	7	公益と個人の権利	—	—	119	—	—	—	—	—	—	}6 9
	75*	公益と個人の権利 《15の公を公共に》	—	—	—	—	—	—	—	—M23	—	
—	75b	公益と個人の権利	—	—	—	23	28	K31	—	—	—	}7 0
	75b*	公益と個人の権利 《15bの公を公共に》	—	—	—	—	—	—	—M21	—M17	—	
般	75c	道路立退き反対運動	—	—	—	—	—	—	—M22a	—	—	—
	75d	学校立退き反対運動	—	—	—	—	—	—	—M22b	—	—	—
の	76	勲章が賞金か	23	9	—	14	16	K22	—	—	—	—
	77	仕事の価値	8	—	108	8	9	K12	—	—	—	—
社	78	個人賞金の使い方(ノーベル)	—	23	—	—	—	—	—	—	—	—
	79	ふしだらな科学者	48(49)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
会	710	公金使いこみの疑い	—	—	115	—	—	—	—	—	—	—
	711	自称・他称の統一	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—
的	712	競輪で教育施設	22	8	—	—	—	—	—	—	—	—
	713	法律は金持に有利か	—	—	121	—	—	—	—	—	—	—
問	713c	法律の精神	—	—	—	22	27	K30	—	—	—	—
	713d	行為か動機か	—	—	—	—	—	—	—	K9	—	7 1
題	714	客がいない車中のタバコ	—	—	122 ^a _b	—	—	—	—	—	—	—
	715	労組をつくるのはよいか	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	716	事故と社長	—	—	—	—	—	—	—M13	—M16	—	7 2
	718	人間の健康の面はよくなるか	—	—	—	—	—	—	—M27a	—M25a	—	7 3
	718b	心のやすらかさはますますか	—	—	—	—	—	—	—M27b	—M25b	—	7 4
	718c	人間の自由はふえるか	—	—	—	—	—	—	—M27c	—M25c	—	7 5
	718d	生活は豊かになるか	—	—	—	—	—	—	—M27d	—M25d	—	7 6
	718e	幸福になるか	—	—	—	—	—	—	—M27e	—M25e	—	7 7

§	項 目		全 国						ペ ジ	
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)		
§ 7	719	才能か運か	—	—	—	—	—	—	M2	7 8
	720	自分の責任か	—	—	—	—	—	—	M1 1a	7 9
	720b	人は信頼できるか	—	—	—	—	—	—	K29	8 0
	720c	スキがあれば利用されるか	—	—	—	—	—	—	K28	8 1
	721	金を貰えばわるい気はしないか	—	—	—	—	—	—	M4a	} 8 2
	721b	金があれば墮落するか	—	—	—	—	—	—	M4b	
	721c	かせいだ金と幸運の金	—	—	—	—	—	—	M4c	
	721d	金にきちょうめん	—	—	—	—	—	—	M4d	
	721e	無理して金をかせぐか	—	—	—	—	—	—	M4e	
	722	万事金か	—	—	—	—	—	—	M1 1b	8 3
723	事故と先生—本人の意見	—	—	—	—	—	—	M13a	} 8 4	
723b	事故と先生—一般の親は	—	—	—	—	—	—	M13b		
§ 8	81	政治家にまかせるか	30	12	112	11	12	K15	—	} 8 5
	81*	政治家にまかせるか	—	—	—	—	—	M8	—	
	81b	政治家にまかせるか 《81の質問文と81*の答》	—	—	—	—	—	—	K8	
	82	「民主主義」はよい感じか	—	—	123a	—	—	—	—	
	82b	「資本主義」はよい感じか	—	—	123b	—	—	—	—	
	82c	「自由主義」はよい感じか	—	—	123c	—	—	—	—	
	82d	「社会主義」はよい感じか	—	—	123d	—	—	—	—	
	82e	「民主主義」はよいか	—	—	—	27a	32a	K35a	—	—
	82f	「資本主義」はよいか	—	—	—	27b	32b	K35b	—	—
	82g	「自由主義」はよいか	—	—	—	27c	32c	K35c	—	—
	82h	「社会主義」はよいか	—	—	—	27d	32d	K35d	—	—
	82i	「共産主義」はよいか	—	—	—	—	—	K35e	—	—
	82j	「全体主義」はよいか	—	—	—	—	—	K35f	—	—
	83	科学者と政治	—	11	—	—	—	—	—	—
83b	専門の研究と政治	43	—	—	24	29	K32	—	—	
84	校長の礼服	—	2	—	3	—	—	—	—	
84b	校長の礼服	—	—	—	—	3	K4	—	—	

§	項 目		全 国						ペー ジ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1973)	
	85	社会問題への関心	—	30 130	—	—	— —	— —	—
	86	選挙への関心	—	84 134	33	38	K39 —	— M18	8 6
	87	支持政党	58	35 135	35	39	K40 M28	K31 M26	8 7
	88	社会は変えるべきか	—	— —	—	—	— —	K26 —	8 8
	89	社会不満の表し方	—	— —	—	—	— —	— M24	8 9
	810	就職の第 1 の条件	—	— —	—	—	— —	K24a —	9 0
	810b	就職の第 2 の条件	—	— —	—	—	— —	K24b —	
§ 9 日 本 人 種	91	日本人の性格(長所)	—	28 128	32a	37a	K38a —	— —	—
	91c	日本人の性格(短所)	—	— —	32b	37b	K38b —	— —	—
	93	日本の庭・西洋の庭	32	21 —	25	30	K33 M23	— —	—
	93b	パリ・イラン・ニューヨークの建物	33	— —	—	—	— —	— —	—
	94	立派な人種	—	— —	34	—	— —	— —	—
	95	日本人・西洋人の残酷	—	25 —	—	—	— —	— —	—
	96	日本人・西洋人の優劣	25	— —	30	35	K16 —	— —	—
	97	すぐれた人種	—	— 124	31	36	K37 —	— —	—
	98	人種的能力差	—	— 125	—	—	— —	— —	—
	99	日本の立場	—	— 113	—	—	— —	— —	—
	910	国旗をあげること(競技)	7	— —	—	—	— —	— —	—
	910b	国旗をあげること(競技)	—	— —	—	—	K17 —	— —	—
	912	日本の「科学技術の水準」	—	— —	—	—	— M25a	— M22a	9 1
912b	日本の「芸術」	—	— —	—	—	— M25b	— M22b		
912c	日本の「経済力」	—	— —	—	—	— M25c	— M22c		
912d	日本の「生活水準」	—	— —	—	—	— M25d	— M22d		
912e	日本の「心の豊かさ」	—	— —	—	—	— M25e	— M22e		
913	日本文化の国際化	—	— —	—	—	— —	— M21	9 2	

Research Report

General Series No. 46

A STUDY OF THE JAPANESE NATIONAL CHARACTER

—THE SIXTH NATION-WIDE SURVEY—

1978

Research Committee
on the Study of the Japanese National Character.

TÔKEI-SÛRI KENKYÛZYO

Institute of Statistical Mathematics
4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,
Tôkyô, Japan-106